



MDP

Sagan

MATCHDAY PROGRAM

5.31 (金)

19:00 KICK OFF  
vs FC東京

©FC TOKYO

FW 99

マルセロ ヒアン  
MARCELO RYAN Silvestre Dos Santos

「自分の特長であるパワーとスピードをこのサガン鳥栖のスタイルで生かしていきたいと思っていますし、生かせると思っています」。加入して間もない読谷村キャンプでマルセロ・ヒアンは力強く言い切った。そして、開幕からそう時間を要することなく、その自信が確かなものであったことを背番号99は証明してみせた。開幕直後の第2節 札幌戦で加入後初得点となる先制点を記録し、今季初勝利を呼び込むと開幕10試合で5得点とハイペースでゴールを量産。強靱なフィジカルを生かした力強さと抜群のスピードで相手ゴールを陥れる迫力。直線的に相手ゴールに向かう姿は一気にサポーターの心をつかんでみせた。ただ、本人は自身の結果よりもチームの結果を優先する。「最も重要なのはチームの勝利」と言葉にするように自身がゴールを挙げてチームの勝利がなければ物憂げな表情を見せる。そんなフォア・ザ・チームの姿勢は普段の練習での取り組みにも表れている。まだ21歳と若く、粗削りな部分が多い。特に守備において繊細な動きが求められる鳥栖においては学ぶべきところがまだまだ多いが、川井健太監督も「真摯に学ぶ姿勢を見せてくれているし、守備も日に良くなっている」とその姿勢を評価する。

とはいえ、自身に求められているものがゴールであることは分かっている。「より多くの得点、そして、得点だけでなくアシストを少なくともチームの中でもっとも多くの数字を出す選手になりたい」。新天地に来る際、掲げた目標は明確だ。チームの勝利が無ければ喜べないが、自身が得点に関与することでチームが勝つ可能性が高くなる。鳥栖という組織としてボール運び、チャンスを作ることを強みとしているチームにあってヒアンの“個の力”はこれまでの鳥栖になかった“違い”をもたらしている。チームにもヒアンを理解し、生かすことでこれまでにない攻めの形も生まれている。ヒアンが鳥栖にもたらす化学反応と相乗効果、その破壊力は留まることを知らない。

違いを生み出す圧倒的存在感。  
マルセロ・ヒアンは  
勝利への扉をこじ開ける